

連盟通信えひめ

発行所

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL 089(923)1595

発行責任者 植岡道玄

ご挨拶

会長 植岡 道玄



残暑お見舞い申し上げます。

七月には衆議院が解散となり、暑い熱い選挙戦が始まりました。八月三十日にはその結果が出ますが、我らが推す岡山三区で頑張っているあべ俊子さんを何としても落とすわけにはまいりません。また看護連盟の後方支援をしてくれている自民党にも元気を出して頑張してほしいものです。

看護連盟は看護職が必要とする政策実現のため、兎いては国民の健康に関わる大きな役割を担っている団体です。このたびの保助看法の一部改正も我らの代表がいたからこそ実現できました。職場環境改善も一歩前進できる基礎ができたと思いますが、今後はこの法をどう進めるかに懸かっています。

私たちの社会的地位確保には教育問題は欠かせません。日本看護協会が取り組んでいる質の向上と並行して教育的背景がなければ地位向上は遠いものになると思います。今後の看護界を背負っていく若者たちには是非政治的意義を学んで欲しいものです。来年の参議院選挙に向けて「たかがい恵美子と未来を創る会」を盛り上げてゆきましょう。



平成21年度日本看護連盟通常総会報告

日本看護連盟名誉会員 愛媛県看護連盟 杉本富恵顧問

今までありがとうございました。これからもよろしく！！

平成21年度日本看護連盟通常総会に参加して

松山記念病院 坂本 謙二

5月29日(金) げ、プリンスパークタワー東京において「平成21年度日本看護連盟通常総会」が開催されました。折しも新型インフルエンザ発生の影響が懸念されましたが、そうした心配もなく全国から1800名以上の参加がありました。植岡道玄愛媛県看護連盟会長も議長を務められ、厳粛な雰囲気の中で開催されました。

見藤連盟会長の開会の挨拶では、前回の参議院選挙において、私たち看護職の新しい代表を国会に送り出せなかった無念さを教訓に、来年の参議院選挙での勝利を目指し、「たかがい恵美子氏」を総力をあげて応援していかなければならないという力強い決意が述べられました。任期半ばで退任する会長の言葉には、会場全体の一人ひとりに伝わる熱意が込められていました。来賓の方々からは、看護政策を推進させるためには政治力の継続が必要であること、そのためにも、看護職の代表を一人でも多く国政の場に送り出さなければならないことの意義が話されました。

数年前までは、看護連盟活動に関心が低い私でしたが、総会に初めて参加させていただき、政界の重要なポストにある人たちが参列されて会合の大きさ、力強さに圧倒されました。

また、連盟活動を身近に感じることで、私たちの看護の未来を切り開くためには、今の連盟活動がなければ実現できないということ、あらためて認識することができました。

政治力の強化、組織の強化・拡大に向け、これからも連盟会員の一人として、共に活動していく会員を増やしていけるよう、頑張っていきたいと思います。

このような貴重な機会を与えていただいたことを大変感謝しております。ありがとうございました。

愛媛県立今治病院 池田 富士子

5月29日に東京で行なわれた日本看護連盟通常総会・創立50周年記念式典に私は初めて参加させて頂きました。全国から2000人余りの会員が参加し熱気にあふれる大会でした。

今年度のスローガンは「ベッドサイドから政治を変える！」～勝つ組織をつくりあげる～です。活動計画で新規として掲げられた内容は「学生会員の獲得と育成」「組織のあり方の検討」であり、連盟の地域に根ざした活動を促進すること、若手会員の政治参加促進があげられました。看護の声を国政に届けるために、このような活動を強化して次期参議院選挙には必ず私達の代表を国政の場に送ろうと決意表明がされました。その候補者として看護連盟はたかがい恵美子さんの推薦を承認されました。美人でバイタリティーのある看護師の代表にふさわしい方です。そこで私達ができることは地域の活動を精力的に行い若手会員の育成と無関心看護師を動かせる必要があります。そして国会に看護師を送り出したいと思います。

引き続き連盟50周年の式典が行なわれました。今年度で引退される見藤隆子さん他ご尽力頂いた方々が表彰されました。今回この総会に参加し看護師を守ってくれているのは看護連盟・協会である事、そのために多くの先輩看護師が活動してくれている事をあらためて実感感謝の気持ちになりました。このような貴重な体験をさせて頂き、私も支部活動を積極的に行い看護の問題点が少しでも改善されるよう活動したいと思いました。

平成21年度愛媛県看護連盟通常総会報告

日 時 平成21年6月14日(日) 10:00~12:00

会 場 愛媛看護研修センター 大研修室

出席会員 280名、委任状提出者 4,323名「連盟通信えひめ74号」でご案内の報告事項、提出議題とともに承認されました。



愛媛県看護連盟通常総会に参加して ～「変えていく力」を持つ～

市立八幡浜総合病院 高橋 砂智子

平成21年6月14日は、私にとって衝撃的な日でした。それは愛媛県看護連盟通常総会に初めて出席し、改めて政治に参加することの大切さを痛感したからです。看護の道を志し、助産師として十数年、より良いケアを提供する為にはどうしたら良いかと、職場で意見を出し合ってきました。然しながら、私達を取り巻く社会情勢や生活様式は著しく変化しており、現場では達成感を得られない日々が続いています。私達が望む事、それはいつも妊産褥婦に寄り添い、女性が生命を伝える事を感じて欲しい事です。それを実現するためには、私達の職場環境や条件を変えていくこと、つまり、政治に関心を持ち参加し「変えていく」事なのです。この気持ちこそが「ベッドサイドから政治を変えよう」に繋がると気付いたのです。中国には「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」と言う言葉があります。物事を成功させるためにはこの三つが重要な条件だと言われています。中でも最も重要なのは「人の和」であり、組織が苦境に立たされたときに効果を発揮します。だからこそ、「変えていく力」を持つ現場のスタッフが和になり、政治と看護を繋ぐ私達の代弁者を国政に送り出すことが大切だと今回の総会に参加して感じました。

たかがい恵美子と未来を創る会 Hop! Step! Jump!

7月13日(月)午後1時30分から愛媛看護研修センターで集会がありました。

週の初めの忙しい時でしたが、日本看護連盟石田昌宏幹事長をはじめ、杉本富恵名誉会員、二宮由美子愛媛県看護協会長、渡部昌子元日本看護連盟愛媛県支部長、OBの方々、県下各施設の看護部長、師長、協会理事、連盟役員など約70名の方が出席してくださいました。直接たかがいさんと意見交換し、短い時間でしたが「たかがいさん」を知る貴重な時間でした。

Hopで第一歩を踏み出しました。Step、Jumpと徐々に高く跳びましょう。

たかがい恵美子の政策・理念

楽しく、豊かに、堂々と暮らせる

「成熟社会・にほん」となるために。

1 健康を増進し、福祉を充実させます。

子を産みたいと思い、安心して育てることのできる社会環境づくりを進めます。

出産・子育て支援の充実、里親制度の推進など

自らの健康に関心を持ち、生活の楽しさを実感できる地域づくりを進めます。

青壮年層の健康づくりの推進、世代間コミュニケーションの促進など

納得して人生を全うできる確かな社会保障づくりを進めます。

認知症の早期発見と重度化対応の推進、多様な看取りの場の確保と十分な看取りケアの実現、信頼できる年金制度の再構築、元気高齢者の生活支援の充実など

2 安心して安全に働ける社会をめざします。

生涯を通じて経済活動に参加できる労働環境づくりを進めます。

看護・介護従事者の処遇改善、ワークライフバランスの促進、働き続けられる職場づくりの促進など

食文化を豊かにする農業政策と地場産業の振興を進めます。

食育の普及、食料自給率の向上、食品安全支援策の充実など

国際競争力のある日本ブランドづくりを進めます。

新たな看護技術の適切な評価、日本語教育を中心とする国際交流の促進、外交交渉力の向上など

3 おもいやりと感謝の心を育む教育と環境をつくります。

情緒と創造性、思考、発想を豊かにする教育体系づくりを進めます。

初等教育の小人数制の促進、家庭で生かせる経済教育の重視など

安全で質の高い医療提供ができる人材育成を進めます。

看護基礎教育の高等教育一元化と卒後臨床教育の実施、計画的な人材確保対策の促進、高度専門的な技術分野の重視など

自然と共生する社会づくりを進めます。

CO₂排出削減目標の早期設定、地球温暖化防止対策の強化、自然と触れ合う機会の充実など



「新支部を立ち上げました！」 よろしく お願いします。



平成21年7月17日
中予第六支部 支部長 竹田 喜久恵

この度、愛媛県看護連盟中予第六支部（松山赤十字病院の施設支部）の支部長という大役を引き受けることとなりました、竹田喜久恵と申します。

正直、私の政治に対する想いはあまり良いものではありませんでした。先が見えず、希望が持てないというのが本音です。このような私が引き受けてよいのだろうかという不安がありました。そんな私だからこそ（私と同じ想いの看護師が大多数ではないかと思うからこそ）同じ目線で、今から考え活動ができるのではないかという考えに至りました。

「誰かがしてくれる」ではなく、自分から（一人ひとりから）行動をおこさなければ何も変わらない、自分たちの環境は変えられません。私は一人でも多くの看護師が、このような考えを持てるように関わっていきたくと思います。「他人事から自分の事へ」をスローガンに活動していきたくと思います。生まれたての支部です、どうぞご支援のほど宜しくお願いいたします。

政治アカデミーに参加して



はじめまして。

政治アカデミー2期生の津吉 研です。

昨年度より、1年をかけて看護の政策について勉強をさせていただいています。

私がなぜ、政治に興味をもったか。きっかけは、長年払い続けていた連盟会費への疑問からです。何をしているのだろうと気になったとき、連盟主催の「看護と政治」についての講演を聴く機会がありました。そこで、ようやく連盟活動の大切さを理解しました。

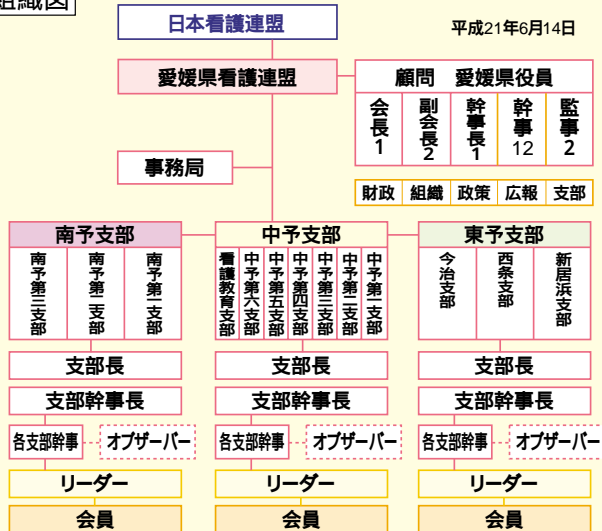
政策の要求・陳情は誰でも出来ますが、それを実現するためには法の整備が重要となります。だからこそ、看護の現状を理解した政治家が必要となる、ということでした。選挙活動をしなくても看護の代表を国会に送ることができることが望ましいのですが、選挙に対する無関心もあり、投票率は低下し、それにつれて獲得票数も減少し、非常に困難な状態になっています。そのために連盟が必要になります。

連盟活動の重要スローガンとして「ベッドサイドから政治を変える」があります。

政策決定には看護を理解した政治家が必要であり、今現在、二人の看護の代表が国政の場で戦っています。議会制民主主義においては、すべて多数決で決議される現状では、看護を理解した仲間が多いほど有利なことは間違いありません。逆風の中だからこそ、勝つことで、看護の力を見せつけるチャンスとも感じています。

看護だけでなく、働く女性のモデルとして、大切な役割もあると思っています。

組織図



ユニフォーム紹介 財団法人永頼会 松山市民病院手術部

一般的な手術室のイメージは、「怖い、冷たい、寒々した感じ」ではないでしょうか？

そんな手術室のイメージを、少しでも温かくできればと思いこの色を選びました。また、このユニフォームは、活動的な手術室にピッタリの材質とデザインになっています。

5人の男性看護師も大変気に入って着てくれています。女性看護師のピンクも可愛いと新人からベテランまで評判がいいようです。

ユニフォームに負けないよう、「元気に明るく、心が通った温かい手術看護」が提供できるよう頑張ります！

井上より子



**研修会・集会でメールをみつめています。
よろしくお願ひします。**

メールアドレスを教えてください

「たかがい恵美子と未来を創る会」では、メールマガジンを通じ様々な情報提供やたかがい恵美子からメッセージを直接皆様にお届けします。「情報が欲しい!」「たかがい恵美子を応援したい!」という方は、メールアドレスをぜひ教えてください。メールマガジンは無料でお送りいたします。

ヨミガナ お名前	
メールアドレス	@

いただいた情報は個人情報保護法の指針にのっとり安全に管理します。また今後の活動のために有効に利用させていただきます。

おめでとうございます

**日本看護連盟
創立50周年記念受賞者**

特別表彰 渡部 昌子

会員表彰 鈴木ルリ子

廣田 玲子

有請千代美

安藤 静子

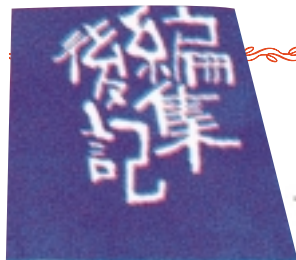
大本加代子

林 良美

永年勤続表彰

山崎 順子

(敬称略)



残暑お見舞い申し上げます。新型インフルエンザ、水不足など心配しながら通常総会も無事終了しました。

中予地区に新しい支部が立ち上がり、13支部となりました。きめ細かい活動が展開されることを願っています。

日本看護連盟通常総会の前日5月28日“ポリナビワークショップin東京”が開催され愛媛県からも9名の若人が参加しました。次号で、その様子をお知らせし若い人達の活躍ぶりを報告したいと思います。

季節の変わり目、どうぞ健康には十分気をつけて仕事に、趣味に、リフレッシュに励んでください。